

野毛山動物園で ミナミコアリクイ「アン」の展示を開始します

令和4年3月28日(月)に、伊豆シャボテン動物公園(静岡県伊東市)からミナミコアリクイの「アン」(メス・1歳4か月)が繁殖のため来園しました。

令和4年4月19日(火)から「アン」の展示を開始します。(11:00~14:00頃予定)

今後は「アン」と当園で飼育している「アサヒ」(オス、6歳11か月)の様子を見ながら同居を行っていく予定です。

天候や動物の状況により、ご覧いただけない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
※なお、4月17日(日)までは、新しい獣舎での生活に馴れるため、ミナミコアリクイの展示を中止しております(4月18日(月)は休園日)。



来園した「アン」(4月11日撮影)



指定管理者:(公財)横浜市緑の協会



お問合せ先

野毛山動物園 園長 田村 理恵 Tel 045-231-1307

【参考資料】

■ 今回入園した個体について

愛称	アン
性別	メス
誕生日	令和2年12月1日 伊豆シャボテン動物公園生まれ
年齢	1歳4か月

■ ミナミコアリクイについて

和名	ミナミコアリクイ
英名	Southern Tamandua
学名	<i>Tamandua tetradactyla</i>
分類	有毛目 オオアリクイ科 コアリクイ属
分布	中南米の森林、草原地帯
形態	体長 53～88cm、体重 3.5～8.5kg。毛は短く、体色は淡褐色や黄褐色、茶色などで、四肢を除き、肩から尾の付け根にかけては黒色で、ベストを着ているような特徴的な模様をしている。尾が長く、木の枝などに巻きつけることができ、木登りが得意。前肢の第3指には大きな鉤爪があり、アリ塚を壊したり、外敵に対しての武器となる。
生態	普段は単独で生活し、外敵に出会ったときなどは、後肢と尾で体を支えて、前肢を広げて立ち上がって身構える。食性はオオアリクイと同様、40cm程ある細長い舌でからめ取るようにして主にアリやシロアリ、ハチなどを食べるが、果実なども食べる。
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	LC (低危険種)
当園飼育頭数	2頭 (オス1頭・メス1頭) (今回入園した個体含む) ※令和4年4月6日現在
国内飼育園館	14園館 32頭 (オス22頭、メス10頭) ※令和4年4月6日現在

■ 野毛山動物園について

入園料：無料

開園時間：9:30～16:30 (入園は16:00まで)

休園日：毎週月曜日 (祝・休日の場合は翌日)、12/29～1/1 ※5月・10月は無休

交通：JR 根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅下車徒歩15分、または市営バス89系統「一本松小学校」行き「野毛山動物園前」下車すぐ 京急線「日ノ出町」駅下車徒歩10分

URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>

住所：横浜市西区老松町63-10

問合せ先：045-231-1307

※野毛山動物園では、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。